

## ご寄付のお願い



世界は大変ですが、神戸も大変です！  
神戸の視覚リハ…アイライトが大変です！

認定 NPO 法人 神戸アイライト協会  
理事長 森 一成

いつも神戸アイライト協会に温かいご支援を賜りましてありがとうございます。2021 年秋に神戸市兵庫区へ移転し1年が経過しました。新会館では視覚リハ(視覚障害リハビリテーションの充実をめざして壁のない解放された 90 m<sup>2</sup>のロービジョンフロアで、5つのテーブルで対応できるようになりました。

しかし神戸市委託の視覚障害者トータルサポート事業(視覚専門相談と歩行訓練等の視覚障害リハビリテーション事業)の継続充実を要望しておりましたが、2022 年3月で終了となりました。この事業は、神戸市に提案して2008年から始まりました。他の大都市で先行していた視覚リハ事業を神戸でもという思いで提案しました。予算は他都市に比較して 20%から 30%程度でしたが、視覚リハ担当者の人件費を確保した初めての事業でした。2009年に全国で初めてスマートサイト(眼科から視覚リハへ繋ぐパンフレット)が実施されました。それに応えるべく相談専用電話を設けて、視覚リハ担当者が直接電話を取れるようにスタッフ体制を整えました。神戸アイセンター病院開設時には、病院に派遣する視覚リハ担当者(視能訓練士等)を2名雇用し、増大する相談に対応するために視覚リハに精通した視能訓練士を雇用しました。また増大する希望に対応するために歩行訓練士、IT 担当者も複数配置して、できるだけ待たせることがないように努めてきました。現在約10名(常勤換算6名程度)で視覚リハ事業を実施しています。2021年度までは、これをサラリーマン3人雇用できる予算で運営していました。それが2022年度より新たな公募委託事業である IT 支援等の「神戸市視覚障害者生活支援事業」および歩行訓練、ロービジョン対応等の「神戸市視覚障害者生活訓練事業」に変わりました。両事業あわせても予算が今までの 3 分の 2(サラリーマン2人雇用程度)となりました。これまでも厳しい運営でしたが、今年度は約800万の大幅な赤字予算で事業をする状況です。地域にとって、市民にとって大切な事業なので、継続しています。しかし、このままだと近い将来、歩行訓練、音声パソコン・ロービジョン機器の相談対応などの視覚リハ事業は安定的に実施できなくなり、アイライトも存続の危機となります。この状況はアイライトの危機だけではなく、神戸の視覚リハの危機と認識しています。

事業予算改善を求めています。来年度予算も同額の提示で見通しは全く立っておりません。そこで事業の維持、継続のために多くの皆様のご支援をお願いしております。すでにご支援をいただいている皆様にはスタッフ一同、心より感謝しております。多くの皆様に神戸の視覚リハの危機を認識していただき、ご無理ない範囲でご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〔ご寄付に関するお問い合わせ〕神戸アイライト協会 事務局まで

電話 078-531-6340 火曜から土曜 10 時から 16 時

〒652-0802 神戸市兵庫区水木通 2 丁目 1 番 9 号 中山記念会館内

〔ご寄付のお振込み先〕

(1)郵便振替口座：00960-6-202643

加入者名：特定非営利活動法人 神戸アイライト協会

(2)みなと銀行 春日野支店（普通）4003775

特定非営利活動法人 神戸アイライト協会 理事長 森 一成

※郵便振替(電信)、銀行振込でご送金くださる場合は、お電話またはホームページの  
お問い合わせよりお知らせください。 <https://eyelight.eek.jp/>  
後日、寄附金受領証明書を郵便でお送りいたします。

※当協会は認定 NPO 法人ですので寄付金控除にお使いいただけます。

※ご寄付くださった方を会報で感謝報告いたします。匿名希望の場合は併せて  
お知らせください。